

日本作業療法士協会の協会事業における

「精神科における作業療法実態調査」にご回答いただいた方へ

このたび、日本作業療法士協会の協会事業における「精神科における作業療法実態調査」にご回答いただいた情報を、下記の研究のために使用いたしますので、下記のとおり情報公開します。この研究で情報を使用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございません。

ご不明なことなどがありましたら、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

1. 対象となる方

- ・2013～2025 年度に日本作業療法士協会が実施した「精神科における作業療法実態調査」にご回答された方
- ・2026、2027年度に日本作業療法士協会が実施する Web アンケートフォームによる「精神科における作業療法実態調査」にご回答された方

2. 情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名: 日本作業療法士協会

氏 名: 会長 山本伸一

3. 情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: 入院・外来における精神科作業療法の実施状況と課題の検討:
実態調査データの二次分析

研究期間: 2026 年 8 月 1 日～2029 年 3 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者): 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
地域精神保健・法制度研究部 研究員 川口敬之

4. 利用又は提供する情報等と取得方法について

情報等: 病院・作業療法部門の基本情報、精神科作業療法の評価・計画・実施内容、入院・地域支援、疾患別実践、診療報酬・制度運用、地域・政策への取り組み状況、精神科作業療法の質向上、自己評価票、自由記載内容(現場の課題や制度・診療報酬に関する意見・要望)

(取得方法) 日本作業療法士協会 制度対策部内 PC および Web アンケートフォームから入手

5. 情報の利用目的及び利用方法

<利用目的>

本研究は、日本作業療法士協会が実施した「精神科における作業療法実態調査」の既存データおよび研究期間中の調査データを用いて、精神科作業療法の実施状況、実践内容、地域移行支援の実態、および作業療法の質に関する自己評価票の経年的変化を明らかにすることを目的とします。これにより、精神科作業療法の現状と課題を把握し、その質の向上および普及・推進に資する基礎資料を得ることを目的とします。

<利用方法>

本研究では、2013～2025 年度の既存データおよび研究期間中の 2026 年度と 2027 年度に収集される調査データを二次利用します。データは個人が特定される情報は含まれていませんが、適切に管理された環境で保存し、取り扱いにあたっては十分に留意いたします。解析結果は統計的に処理し、学会発表および論文として公表しますが、個人や施設が特定されることはありません。

なお、本研究は、令和 8 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(障害者政策総合研究事業)の一環で実施いたします。

6. 利用又は提供を開始する予定日

- ・2013～2025 年度の情報の利用又は提供は、2026 年 10 月頃を予定しています。
- ・2026、2027 年度の情報の利用又は提供は、各年度 12 月末までに行います。

この研究にご質問等がありましたら下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：日本作業療法士協会

所属：制度対策部 氏名：遠藤千冬、沢田宏美

電話番号：03-5826-7871

問い合わせフォーム：<https://www.jaot.or.jp/contact/>

以上